

# 第3回西日本モデルロケット大会

びんごモノづくり村

<http://www.monorobo.com/>

Mail: [monozukurimura@yahoo.co.jp](mailto:monozukurimura@yahoo.co.jp)

## ○イベントの趣旨

小・中高校生の児童や生徒を対象に、宇宙科学に対する興味関心を養うため、モデルロケットを題材としたイベントを開催する。モデルロケット大会は定期的に日本モデルロケット協会が筑波にあるJAXAの敷地内で開催しているが、西日本の子供たちが大会に参加するにはハードルが高いため、広島県で開催することはメリットがある。また、ロケットを自作してもらうことで、モノづくりの楽しさを伝えることができ、広島県の技術者の養成に貢献できる。

## ○実施概要

名称: 第2回西日本モデルロケット大会

日時: 10月21日(土) 9:45~15:00 受付: 8:00~9:30

場所: やまみ三原運動公園 (広島県三原市沼田東町釜山 10253-1)

主催: びんごモノづくり村

共催: ポラーノグループ三原

## ○競技内容

自作ロケットまたは、市販されているモデルロケットキットを使って、高度競技、滞空時間競技を行う。

## ○参加資格

・ライセンスの有無に関係なくどなたでも参加可能

## ○参加条件

・自動車保険、傷害保険、火災保険などの賠償責任保険等に加入していること。

## ○参加費用

・参加費: 3,000円

※大会参加用のロケットキットの販売を行っています。(1個500円)

※ロケット製作教室の実施も可能です。

## ○安全対策

- ・ロケットの発射に関して生じた物損に関しては、参加者各自で加入している自動車保険、傷害保険、火災保険の賠償責任保険等で対応します。
- ・イベント保険への加入
- ・水の入ったバケツの準備、水道の確保
- ・待機用 10m ラインのバリケード
- ・救護所の設置 (医療品の準備)
- ・安全を確保する確認書の記載のお願い・誓約書

## ○発射台について

- ・主催者が準備する発射台を使用するものとする。(ランチロッドの直径は 3mm)

## ○検査

- ・受付時に機体及び使用エンジンの検査を実施する。
- ・機体検査で不合格となった機体またはエンジンは、競技会では使用する事は出来ない。

## ○打ち上げ準備

- ・エンジン及びイグナイターの装着は、必ず、指定された打上げ準備所で行う。

## ○打ち上げ

- ・呼び出しが行われた時は、係員の指示に従い速やかに発射台に機体をセットする。

## ○失格

- ・呼び出しが行われた後 3 分以内に発射準備が完了しない場合はその発射は失格とする。
- ・カウントダウン 0 の後、5 秒以内にエンジンに点火しない場合には不点火と見なされる。
- ・2 回連続で不点火を行うと、その発射は失格とする。
- ・審査員によって安全なフライトでは無かったと判断された場合、その発射は失格とする。
- ・ロケットを回収できない場合は失格とする。

## ○競技中止

- ・天候不良などの理由により競技会が中止となる事がある。
- ・雨天
- ・平均風速 8m/s を継続して越える場合
- ・その他悪天候

## ○抗議

- ・各種目のロケット発射が終えてから 20 分以内に競技参加者が競技委員長に対して抗議を申し立てることができる。

## ○獲得ポイント

- ・各種目とも、上位 6 名に次のポイントを与える。  
1 位:10 点   2 位:7 点   3 位:5 点   4 位:3 点   5 位:2 点   6 位:1 点

## ○フライオフ

- ・各競技の 1 位の選手が複数人の場合、フライオフを行う。
- ・総合の 1 位の選手が複数人の場合は滞空時間競技でフライオフを行う。
- ・もしフライオフで打ち上げる機体がない場合は、フライオフを棄権とする。

## ○表彰

- ・各種目別に上位 2 名が表彰され、上位 3 位までを入賞とする。

## ○その他

- ・本競技規則は予告無く変更する事がある。

## ○競技種目とルール

### ① 高度競技

- ・サイズ: 全長 200mm 以上、その内 50%以上が直径 24mm以上
  - ・重量: 20g 以上(機体のみ)
  - ・使用エンジン : 1/2A6-2
  - ・リカバリーシステム: ストリーマまたはパラシュート
  - ・ストリーマについて
    - 均質、無孔の長方形であり、数量は 1 個に限定される。
    - 長さとの幅の比は 10:1 以上で、幅は少なくとも 25mm 以上であること。
    - 一方の端には補強材を取り付け、その補強材にシュラウドラインを接続すること。(機体を接続するシュラウドラインは 1 本とする。)
  - ・パラシュートについて
    - 大きさや材質は自由である。
    - パラシュートには 3 本以上のシュラウドラインを取り付けること。
  - ・認識できるようにする(色の工夫またはチョークの使用など)
- ※競技場から出た場合は失格とする**

### ② 滞空時間競技

- ・サイズ: 全長 200mm以上、その内 50%以上が直径 24mm以上
  - ・重量: 20g以上(機体のみ)
  - ・使用エンジン: 1/2A6-2
  - ・リカバリーシステム: パラシュート
  - ・パラシュートについて
    - 大きさや材質は自由である。
    - パラシュートには 3 本以上のシュラウドラインを取り付けること。
- ※競技場から出た場合は失格とする**

※ロケットの条件が満足していれば同じロケットで複数の競技に参加することができる

## ○申し込み方法

びんごモノづくり村ホームページより

<http://www.monorobo.com/>

## ○ロケット製作のお手伝い

- ・大会に参加できるロケットは自作又は市販のキットだけです。
  - 大会に参加するロケットの製作アドバイスや製作のお手伝いも可能です。
  - ロケットキットやエンジンの購入方法などなんでも下記までメールしてください。
- Mail: [monozukurimura@yahoo.co.jp](mailto:monozukurimura@yahoo.co.jp)